

CNA レポート・ジャパン

Conferencing News & Analysis, Report on Japan market - CNAReportJapan

創刊：1999年12月
発行日：毎月15日・月末
PDFによる発行

オンライン会議（ビデオ/Web/音声）システム市場専門トレンドワッチ

Vol. 25 No.1 2023年1月15日

製品・サービス動向-国内

■サムライズ：クラウド配信に最適化したアーキテクチャーでバーチャル体験を実現する Web 会議・Web セミナーのための仮想空間システム「Adobe Connect 12」を提供開始

(2022年12月21日)

株式会社サムライズ (<https://www.samuraiz.co.jp/>) (東京都品川区) は、アドビ社製、Web 会議・Web セミナーのための仮想空間システムの最新バージョン「Adobe Connect 12」を2022年12月21日より提供開始する。



Adobe Connect 12 画面イメージ (サムライズ)

Adobe Connect は、2004年の発表以来、グローバル企業や米国陸軍を含む政府機関などにも選ばれ、世界で幅広く利用されている Web 会議・Web セミナーのための仮想空間システム。

最新版の Adobe Connect 12 では、現行の主要なブラウザで広く利用されている WebRTC に対応した。これまでの Classic ビューをサポートするために必要であった Flash ベースのアーキテクチャーから、クラウド

配信に最適化した新しいアーキテクチャーに完全移行したことになる。

WebRTC に対応したことでオーディオコーデック「Opus」およびビデオコーデック「VP8」を使用することが可能になった。これによりオーディオとビデオの品質(1080p 対応)が大幅に改善されているという。このほか、単一スピーカービュー機能、スポットライトスピーカー機能、ビデオ制限・ページネーション、スクリーン共有、MP4 録画などの機能が強化された。

ユーザーインターフェイスの面でもより使いやすく改善されている。入室前のマイクテスト、入室中の Web カメラの切り替え、アイコンの視認性などが改善・強化されている。

その他、モバイルアプリも新しくなった。PC 版のみに対応となっていた Q&A 機能、ビデオ機能、ノート機能もモバイル版で対応できるようになった。

サムライズはアドビ社の「Adobe Connect」を取り扱う唯一の特別販売代理店。これまで Web セミナー、Web 会議、e ラーニングの導入や運用のコンサルティングを通して、多くの企業や教育機関、政府機関を支援しながらコラボレーション市場をリードしてきた。本件の問い合わせ先は同社のデータ・マネジメント・ソリューション事業部。

■コトバデザイン：現場コミュニケーションを活性化する、クラウド型映像音声通話サービス「COTOBA Talk」の商用サービス開始

(PRTIMES：2022年11月2日)

株式会社コトバデザイン (<https://talk.cotoba.net/>)

(東京都渋谷区)は、現場コミュニケーションを活性化、クラウド型映像音声通話サービス「COTOBA Talk」の商用サービスを2022年11月2日より開始する。



COTOBA Talk (コトバデザイン)

COTOBA Talk は、スマートフォン(発表時点ではiOSのみ対応)、PCを端末としてインターネットを介して映像付きのグループ通話ができるサービス。電話のように使える呼び出し機能があり、超低遅延通話と高精度映像通話を実現している。また、現場の「今」の作業状況や仲間の位置情報を共有したり、通話音声とその書き起こし、写真、映像、位置等の記録(COTOBA Talkのサーバーに保存)もできる。さらに、管理者による一括管理が可能で、スマートフォンひとつで作業者はその日から利用可能となっている。

サービスは組織(グループ)単位での契約となっている。機能に応じて、「ベーシック」「スタンダード」「プロフェッショナル」「エンタープライズ」の4つのプランを提供している。なお、エンタープライズでは、カスタマイズやシステム連携も可能となっている。たとえば、設備管理、製造、物流、防災、医療などの統合システムの一部として組み込むことができるようになっている。

今後の予定としては、より便利につかっていただけるよう、引き続き機能改善・開発に努めていくとともに、音声操作によるハンズフリーの実現のほか、Android版アプリの提供(ウェアラブルカメラの接続に対応したアプリ)、遠隔ロボット制御を含むシステ

ム連携、クラウド機能の強化(サーバーの堅牢化とグローバル分散化)などを予定しているという。

	ベーシック (無料)	スタンダード	プロフェッショナル	エンタープライズ
映像通話時間/ユーザ	月合計2時間	月合計10時間	月合計100時間	月合計300時間
音声通話時間/ユーザ	制限なし	制限なし	制限なし	制限なし
登録ユーザ上限	20人	制限なし	制限なし	制限なし
映像付きグループ通話	○	●	●	●
通話記録 (音声・書き起こし・位置)	-	-	●	●
Webアプリ	-	●	●	●
管理コンソール	●	●	●	●
音声認識カスタマイズ	-	-	-	● (カスタマイズ別)
システム連携 (音声アシスタント)	-	-	-	● (カスタム開発別)

利用プラン (コトバデザイン)

ビジネス動向-海外

■Enghouse Systems 社：エンタープライズビデオテクノロジーのQumu社の買収を発表、両社の市場における競争力強化の一環

(PRNewswire：2022年12月19日)

大手グローバルプロバイダーの Enghouse Systems 社 (<https://www.enghouse.com/>) (カナダ・オンタリオ州)が、クラウドベースのエンタープライズビデオテクノロジーの大手プロバイダー Qumu 社 (<https://qumu.com/>) (米国・ミネソタ州)を買収することで両社が合併契約の締結を行った。

両社の取締役会によって満場一致で承認された契約条件により、新たに設立された Enghouse 社の完全子会社が、Qumu 社の全ての発行済み株式に対して1株あたり0.90ドルの現金での公開買い付け(tender offer)を開始する。今回の買い付けによる株式の総価値は約1,800万ドル。1株あたり0.90ドルの購入価格は、2022年12月16日のQumu社の普通株式の1株あたり0.44ドルの終値よりも約105%上乗せとなる。なお、公開買い付け及び合併は、慣例及び手続き完了のための条件に従って実施される。手続き完了は2023年2月を予定。

今回の合併取引は、市場における両社の製品の競争

力を高めるのが狙い。また、Qumu 社にとっても製品開発力の強化やサービスやサポートの品質を高めるのに資すると今回の合併に期待を寄せる。

導入利用動向-国内

■ベルフェイス：朝日生命保険のコールセンターにて「bellFace」を正式導入

(PRTIMES：2022年12月23日)

ベルフェイス株式会社 (<https://corp.bell-face.com/>) (東京都港区) は、朝日生命保険相互会社 (<https://www.asahi-life.co.jp/>) (東京都千代田区) が同社のコールセンターでの半年間の試験導入期間を終了し、12月より正式にサービス導入する運びになったと発表。

朝日生命保険のコールセンターでは、「あさひマイページ」などのホームページ上の操作方法等に関するお問い合わせや、各種手続き書類の記載方法に関するお問い合わせなどへの対応に bellFace を利用する。

bellFace 導入以前は全て電話で1文字ずつ確認を行う必要があり、正確な情報を伝えるためには時間を要していた。口頭のみで案内することの難しさのほか、書類の訂正のための返送等、対応工数が膨大になりがちだった。

マイページのログインに関する問い合わせでは、お互いに画面を見ながら案内ができる、bellFace の「画面共有機能」を活用し、一方、書類郵送に関するお問い合わせでは、たとえば漢字が難しいお客様の氏名の確認や海外の住所を口頭のみで確認を行うのは難しく、bellFace の「共有メモ機能」を活用する。

試験導入開始当初では新しい機能ということでコミュニケーションは慣れない操作やお客様対応でスムーズに利用できるのかという不安もなかなか利用実績は出てこなかったが、利用案件のフィードバックといった利用促進に向けた教育・働きかけの継続により、

bellFace の利用ができそうであれば積極的に利用するような空気に次第に変化していったという。なお、試験期間中では、画面共有機能や写真撮影機能の利用もあったが、この共有メモ機能の利用が最も多かったという。

ベルフェイスでは引き続き同社コールセンターでのお客様対応において bellFace を活用したオンラインサポートを実施していくとしている。また、今後は bellFace のさらなる利用場面の創出や、試験導入期間中は利用実績としては少数だった機能も含め bellFace の全ての機能を有効活用することや、従来以上にお客様に寄り添った丁寧で的確なお客様対応の実現を目指していく。

■OfficeTV：田村義肢に拠点間の常時接続専用のテレビ会議システム「OfficeTV」を提供

(valuePress：1月4日)



拠点間常時接続専用 OfficeTV (OfficeTV)

クラウドシステム OfficeTV の企画・開発・運営を手掛ける、株式会社 OfficeTV (<https://display.jp/>) (東京都渋谷区) は、同社が提供する拠点間の常時接続コミュニケーションシステム「OfficeTV」を2023年1月より株式会社田村義肢製作所 (<http://www.tamuragishi.com/index.php>) (札幌市中央区) が導入したと発表。

OfficeTV は離れた拠点同士を常時接続でつなげ、顔を見ながら隣にいるかのような感覚でコミュニケーションが出来る、常時接続専用のテレビ会議システム。

田村義肢製作所は、札幌市と帯広市で義肢・装具の制作、福祉用具一般・車椅子・松葉杖などの介護用品レンタル等の事業を展開。他拠点とのコミュニケーション不足や一体感の不足が課題だった。

そこで他拠点と常時接続するツールを検討した。高価な専用機材が多い中、OfficeTVは初期費用が安く抑えられることから導入するに至る。実際に使ってみると、ひと目で他拠点の状況がわかり、声をかけやすく、遠くなった拠点との親近感を取り戻すツールだと実感・評価した。

※導入事例（他企業事例もあり）

<https://display.jp/review/>

セミナー・展示会情報

<国内>

■日本マイクロソフトと Neatframe 社：ハイブリットワークの成功について学ぶ合同イベント

日時：1月18日（水）13:30～16:30

会場：日本マイクロソフト本社31F

主催：日本マイクロソフト株式会社/Neatframe 株式会社

詳細・申込：

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000008.000092823.html>

※セミナーセッションの後オフィスツアー、そして交流会（希望者のみ）。

■ブイキューブセミナー情報（1月～2月）

「WebRTCか。WebRTC以外か。」「2023年最新！見えてきた、WebRTCの課題と対策」「始めるなら今!! 防災DXで情報共有のスピードと質を向上」「バーチャル株主総会の課題は年内に解決！QAセミナー」「ぷらっとオフィス見学Days！Web会議歴10年以上の職場とは」など

会場：オンライン/オンデマンド、東京

主催：株式会社ブイキューブ

詳細・申込：<https://jp.vcube.com/event/all>

■Webex Meetings 関連ウェビナー（1月～2月）

「ホワイトボードを使って、ずれない意思決定を実践する方法」「Webex アップデートのご活用方法」「いますぐ活用すべき Webex 機能3選」など（録画も視聴できます）

会場：オンライン/オンデマンド

主催：シスコシステムズ合同会社

詳細・申込：https://www.cisco.com/c/m/ja_jp/training-events/events-webinars/collaboration-webinars.html

国内その他：<https://cnar.jp/cna/event-j.html>

※イベント情報は随時情報が入り次第掲載しております。CNAR.jp サイトの情報もご参照ください。

業界の動き

遠隔会議・UC 業界は日々さまざまな動きがあります。この定期レポートの発行は月2回（プレスリリースと取材に基づく記事のみ）ですが、CNA レポート・ジャパンでは、それ以外の業界の動きに関連した国内外の情報を日々皆さんと共有しています。皆様の情報収集のひとつとしてご活用いただければ有難いです。

■フェイスブック（遠隔会議&UC トレンドワッチ）

<https://www.facebook.com/unifiedcom>

■Twitter（遠隔会議&UC トレンドワッチ）

<https://twitter.com/cnarjapan>

■メーリングリスト（dtc-forum）

<https://cnar.jp/cna/dtcforum-ml.html>

定期レポートバックナンバー

定期レポートのバックナンバー（1999年～最新号）は下記 URL で閲覧できます。

<https://cnar.jp/cna/cnareportarchive.htm>

CNAレポート・ジャパン 2023年1月15日号おわり

ホームページ：<https://cnar.jp> お問い合わせ：cnar@cnar.jp